

# 四国東南海・南海地震対策連絡調整会議 DIGファシリテーター養成講座開催 〔地震・津波対策プロジェクト〕

四国東南海・南海地震対策連絡調整会議において検討中のプロジェクトの取り組みとして、徳島県海部郡美波町をモデル地区として

- ・DIG(災害図上訓練)のファシリテーター(総合進行役)の養成
- ・参加者の防災意識の向上や防災知識の習得、より深いコミュニティ作りを目的に実施しました。



- ◆日 時:平成20年12月15日(月)午後3:00~6:00
- ◆場 所:徳島県海部郡美波町  
徳島県南部総合県民局会議室
- ◆参加者:阿南市、阿南市自主防災組織、阿南市消防団、那賀町、牟岐町、美波町  
美波町自主防災組織、海陽町  
調整会議地震・津波対策プロジェクトメンバー(四国地方整備局、徳島県)等約40名
- ◆講 師:富士常葉大学 環境防災学部 准教授 小村隆史先生
- ◆養成講座の概要

## ◇オリエンテーション

- ・DIGの説明
- ・自己紹介
- ・東南海・南海地震発生メカニズムと被害の概要
- ・地域の将来像を認識



DIGについて説明



東南海・南海地震発生メカニズム  
と被害の概要説明

## ○DIGとは？

- ・DIGとは、災害図上訓練(Disaster Imagination Game)のことで、大きな地図を参加者全員で囲み、災害対策のイメージトレーニングを実施するものです。
- ・大人から子供まで参加者全員で「わいわい、がやがや」と語り合いながら課題の発見や災害対応を検討するためのトレーニングです。
- ・地域や学校、事業所で実施することにより、防災意識の高揚のみならずコミュニティ(地域相互支援ネットワーク)作りに役立つとされています。

◇ 第一段階

- ・地域の自然条件、まちの構造の書き込み
- ・人的物的防災資源の書き込み
- ・震度分布、津波浸水深や危険箇所の書き込み
- ・地域の課題を洗い出す



地域の自然条件、まちの構造を書き込み



震度分布、津波浸水深や危険箇所の書き込み

◇ 第二段階

- ・被害が想定される主要施設を洗い出す
- ・事前の対策が必要とされる施設を洗い出す



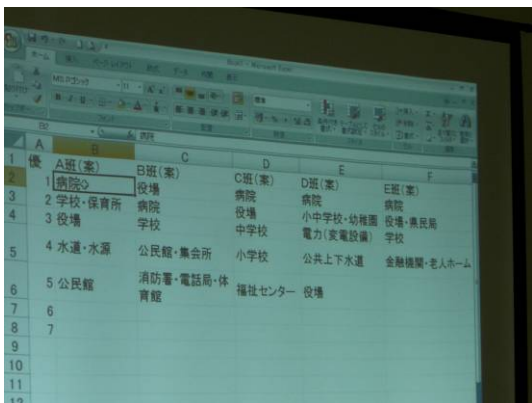
被害が想定される主要施設の洗い出し



事前の対策が必要とされる施設について話し合う

◇ 第三段階

- ・必要な対策の優先順位について考える
- ・必要な対策の工程を考える



必要な対策の優先順位の検討結果



必要な対策の工程について話し合う

■ 東南海・南海地震対応DIG手引書は下記のアドレスよりダウンロードできます。

<http://www.skr.mlit.go.jp/bosai/jishin/torikumi/chosei/DIGtebiki.pdf>

■ 東南海・南海地震対応DIG手引書に関するお問い合わせは四国地方整備局企画部防災課まで  
連絡先: TEL087-811-8310